

各 位

会 社 名 株式会社 ウッドワン  
 代表者名 代表取締役社長 中本 祐昌  
 (コード番号 7898 東証第 1 部)  
 問合せ先 取締役管理本部本部長 藤田 守  
 (TEL. 0829-32-3333 )

## 海外連結子会社の事業の一部休止に関するお知らせ

平成 30 年 1 月 23 日付の「海外連結子会社の工場事業再編に関するお知らせ」で開示しましたとおり、ニュージーランドの連結子会社である Juken New Zealand Ltd. (以下 JNL) は、同社ギスボン工場の事業再編について労使協議を行ってまいりました。この協議の結果、平成 30 年 2 月 9 日開催の JNL 取締役会において、ギスボン工場の合板事業を休止する方針を決議いたしました。これを受けて、当社は本日開催の取締役会において、ギスボン工場の合板事業を休止する事を決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業休止の理由

ニュージーランドの連結子会社である JNL は、1990 年に山林の伐採権を取得後、当社グループが培ってきたノウハウで、植林を開始してから約 30 年が経過します。これまで計画的に管理し育成してきた競争力のある良質なラジアータパイン原木がこれから伐採期を迎えます。このことは、当社グループの強みである「無垢材」という資源を豊富に獲得したことを意味します。

ニュージーランドのギスボン市にある JNL のギスボン工場では、これまで出材原木の「無垢材」比率と生産数量とのバランスにおいて「無垢材」用途以外の部位を使用した合板製品を製造し、ニュージーランド国内や海外市場に販売してきました。しかし、合板専門業者等の台頭により、海外市場における価格競争は激化し、人件費の上昇なども相まって、合板製品の収益は厳しい状況が続いておりました。

そこで、平成 30 年 1 月 23 日付の「海外連結子会社の工場事業再編に関するお知らせ」で開示しましたとおり JNL のギスボン工場の事業再編について労使協議を行ってまいりました。

この協議の結果、今後の良質原木の出材を背景として製造資源の選択と集中を図り、付加価値の高い製品の生産を行うことにより収益性の向上を目指し、ギスボン工場の合板製造ラインを停止し、合板事業を休止することにいたしました。

#### 2. 事業の一部を休止する子会社の概要

##### (1) 当該子会社の概要

名称	Juken New Zealand Ltd.
所在地	ニュージーランド
代表者の役職・氏名	中本 祐昌
事業内容	木製品等の製造・販売、植林を含む山林経営
資本金の額	251 百万ニュージーランドドル

※当該子会社は、主に山林及びギスボン工場を含め 4 つの工場で運営しています。

##### (2) 休止する事業内容

当該連結子会社のギスボン工場の合板製造事業

(3) 休止する事業の実績概要

連結売上高実績のうちギスボン工場合板製品の売上高

	平成 29 年 3 月期 ギスボン工場 合板製品 (a)	平成 29 年 3 月期 連結実績 (b)	比率 (a/b)
売上高	1,005 百万円	66,394 百万円	1.5%

(4) 当該事業部門に関する従業員の処遇及び資産の取扱い

休止するギスボン工場の合板製造ラインに所属する従業員(約 100 人)は他の部門に異動するか退職となり、現在 JNL では希望退職者を募っております。また、今後使用しない合板製造ラインの資産につきましては、減損処理を行う予定です。

3. 日程

平成 30 年 2 月 9 日 JNL 取締役会決議  
平成 30 年 2 月 12 日 当社取締役会決議  
平成 30 年 2 月末まで 合板事業休止(予定)

4. 今後の見通し

現時点では事業休止による損失は確定しておりませんが、ギスボン工場の合板製造ラインの停止によって、主に製造設備の減損損失の影響が見込まれ、人員削減による退職金などを含め、平成 30 年 3 月期末までには約 9 億円の特別損失が計上されることが予想されます。なお、本日、平成 30 年 2 月 12 日付けで発表しました「平成 30 年 3 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」には、特別損失として業績予想に織り込んでおります。

以 上